

一般社団法人日本臨床検査専門医会 2022 年度 第 2 回理事会議事録

開催日時：2022 年 5 月 20 日（金曜日）12 時 40 分～14 時 00 分

場 所：鹿児島市町村自治会館+ZOOM によるハイブリッド開催

出席者：（現地参加者）ㄨ谷直人理事長，山田俊幸副理事長，菊池春人，横崎典哉，
松下一之，田部陽子 各常任理事
尾崎敬，北中明，橋口照人 各理事 木村聡次期大会長
東條尚子 監事
（WEB 参加者）東田修二（庶務担当），増田亜希子（会計担当），福地邦彦，
五十嵐岳，各常任理事
藤井聡，植木重治，浅井さとみ，山田鉄也 各理事
古川泰司 監事

事務局：市川綾子，大和田有美子

Web 会議システムにより，全出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり，的確な意見表明ができることが確認されたため，定刻，ㄨ谷理事長が開会を告げ，ㄨ谷理事長が議長となり，開会を宣し，議事に入った。

<報告事項>

1. 第 1 回年次大会の開催

橋口照人大会長より，今大会のテーマ「次世代バイオマーカーへの挑戦」の由来についての説明があった。さらに，ディスカッションの機会がもてたこと，ハイブリッド開催が実現し，現地に足を運んでくださる参加者を迎えられたことへの謝辞を述べた。

2. 各種委員会報告（2022 年 4 月以降に活動報告，事業計画に変更などがあれば）

1) 情報・出版委員会

福地委員長により，今回は特に資料無し，前回資料通りの進捗状況で会務を進めている旨報告があった。また，今年度事業である要覧作成につき，対応すべきことの把握をしたので，6 月の月上旬に事務局を訪ね，打ち合わせをすると述べた。

ㄨ谷理事長より今年度の要覧発行に向けてよろしくお願いしますとの発言があった。

2) 教育研修委員会

田部委員長により，添付資料に基づき，まず，生涯教育講演会についての参加依頼があった。また，教育セミナーについては，定員 50 名のところ，本日までに 50 名の定員に対し，45 名の申し込みが来ていると報告があった。専門医受験者以外に，資格取得者が研鑽のために受ける例がある。人数が増えた場合に，定員での打ち切りや資格取得者の受講を受けるかどうか，また開催方法（現地，オンデマンド，ハイブリッド等）など，

来年度の課題として検討していく必要があると述べた。ハンズオンセミナー共催に関しては前回報告どおり。第 69 回日本臨床検査医学会学術集会共催シンポジウムについては資料の通り、テーマ、座長、講師が決定したとの報告があった。「地域医療」を主題としたシンポジウムを行う予定である。

ベ谷理事長より教育セミナーについては、専門医にとっても役に立つセミナーとして、委員会内で検討し再度理事会に諮るようにと提言があった。

菊池理事長より、オンデマンド開催の場合定員 50 名で打ち切る必要が無いのはいかという質問があった。田部委員長および事務局市川より、資料の準備・発送に手間がかかっているため人数制限をしているとの説明があった。多少増えることは構わない。ベ谷理事長からも外部委託含め、検討して人数を増やすことを検討してはどうかとの発言があった。

3) 資格審査・規定改定委員会

菊池委員長より、資料に基づき、教育セミナー開催の関係で前回以降 6 名の入会審査を委員会で承認し、理事長に承認依頼をした旨報告があった。

名誉会員・有功会員候補の推薦について、法人化の年度変更および委員会から理事会への推薦・総会での承認などの手続きが必要となることからスケジュールが変更になる旨説明があった。選定基準についての委員会内での検討はこれからする。2022 年度臨時社員総会で承認依頼をするためには、9 月理事会に候補者の推薦が必要となる。法人化後懸案になっているのが選定基準であるが、これから委員会内で検討をする。規定と推薦を同時に 9 月の理事会ですか、先に選定基準だけ先にメール審議で対応するかも含め検討していく。

4) 広報・ネットワーク委員会

五十嵐委員長より、前回から特に大きな変更はなく資料なしとの説明があった。

HP からの情報漏洩がうまく収まってきたことと、ネットワーク BBS を、6 月から徐々にスタートする予定があるとの報告があった。

5) 渉外委員会

横崎委員長より、資料に沿って、7 月 22 日に開催される振興セミナーの内容・座長・演者の紹介があった。今期は予算の都合上 WEB 開催だが現地開催を望む意見もあったため、次回以降についてはまた現地開催も含めて改めて検討していく方向であると述べた。

ベ谷理事長より、専門医講習単位をとるかとの質問があった。横崎委員長より領域講習で単位申請をする予定であるとの説明があった。

6) 保険点数委員会

松下委員長より添付資料に基づき、振興セミナー講演 2 で「診療報酬改定に対する診療検査専門医会としての考え」(案)を予定しており、理事の先生方の意見をいただきたいと

話があった。大会中の講演でも意見交換を期待している。また、保険点数に関して、増点はあっても新規項目の配点はあまりない。

近年、臨床検査の標準化や共有化、ネットワーク等の必要性は厚労省その他からも要望があるため、新規の保険点数を希望したい。臨床検査医学会他関連団体とも協議を進めていくと述べた。また、資料2の記載についても説明があり、それに対し、〆谷理事長より、専門医の数が少ないため、難しいこともあるかと思うが、ぜひ他の先生方とも意見を交わし検討して欲しいとの話があった。

3. その他

第2回一般社団法人日本臨床検査専門医会年次大会について

木村次期大会長より、資料を示しながら日程・開催地の説明があった。テーマは現在検討中。開催方法についても予算を踏まえつつ検討中である。横崎理事より全国国立大学法人病院検査部会議と日程が重なるとの発言があった。関係者に連絡をとり、スケジュール調整を検討するとよいのではないかと提言があった。

< 審議事項 >

第一号議案 将来ビジョン検討委員会メンバーについて

資料に基づき、議長より委員会の概要や推薦要項等の説明があった。現任の〆谷理事長、東田理事の留任でよいかと提案があり、議長が議事を諮ったところ満場異議無く承認された。その後、〆谷理事長と東田理事の承諾を得て、2名を本会からのメンバーとして推薦することが決定した。

以上をもって議事・報告の全てを終了したので議長は閉会を宣した。

植木理事、古川監事が所用により途中退出した以外は、全員通信が途切れることもなく、閉会までつつがなく議事が進行された。

以上、議事・報告事項について本議事録を作成し、出席理事長及び出席監事は次に記名押印する。

2022 年 月 日

理事長 _____ 印

2022 年 月 日

監事 _____ 印

来年度の課題として検討していく必要があると述べた。ハンズオンセミナー共催に関しては前回報告どおり。第 69 回日本臨床検査医学会学術集会共催シンポジウムについては資料の通り、テーマ、座長、講師が決定したとの報告があった。「地域医療」を主題としたシンポジウムを行う予定である。

ベ谷理事長より教育セミナーについては、専門医にとっても役に立つセミナーとして、委員会内で検討し再度理事会に諮るようにと提言があった。

菊池理事長より、オンデマンド開催の場合定員 50 名で打ち切る必要が無いのはいかという質問があった。田部委員長および事務局市川より、資料の準備・発送に手間がかかっているため人数制限をしているとの説明があった。多少増えることは構わない。ベ谷理事長からも外部委託含め、検討して人数を増やすことを検討してはどうかとの発言があった。

3) 資格審査・規定改定委員会

菊池委員長より、資料に基づき、教育セミナー開催の関係で前回以降 6 名の入会審査を委員会で承認し、理事長に承認依頼をした旨報告があった。

名誉会員・有功会員候補の推薦について、法人化の年度変更および委員会から理事会への推薦・総会での承認などの手続きが必要となることからスケジュールが変更になる旨説明があった。選定基準についての委員会内での検討はこれからする。2022 年度臨時社員総会で承認依頼をするためには、9 月理事会に候補者の推薦が必要となる。法人化後懸案になっているのが選定基準であるが、これから委員会内で検討をする。規定と推薦を同時に 9 月の理事会ですか、先に選定基準だけ先にメール審議で対応するかも含め検討していく。

4) 広報・ネットワーク委員会

五十嵐委員長より、前回から特に大きな変更はなく資料なしとの説明があった。

HP からの情報漏洩がうまく収まってきたことと、ネットワーク BBS を、6 月から徐々にスタートする予定があるとの報告があった。

5) 渉外委員会

横崎委員長より、資料に沿って、7 月 22 日に開催される振興セミナーの内容・座長・演者の紹介があった。今期は予算の都合上 WEB 開催だが現地開催を望む意見もあったため、次回以降についてはまた現地開催も含めて改めて検討していく方向であると述べた。

ベ谷理事長より、専門医講習単位をとるかとの質問があった。横崎委員長より領域講習で単位申請をする予定であるとの説明があった。

6) 保険点数委員会

松下委員長より添付資料に基づき、振興セミナー講演 2 で「診療報酬改定に対する診療検査専門医会としての考え」(案)を予定しており、理事の先生方の意見をいただきたいと

話があった。大会中の講演でも意見交換を期待している。また、保険点数に関して、増点はあっても新規項目の配点はあまりない。

近年、臨床検査の標準化や共有化、ネットワーク等の必要性は厚労省その他からも要望があるため、新規の保険点数を希望したい。臨床検査医学会他関連団体とも協議を進めていくと述べた。また、資料2の記載についても説明があり、それに対し、〆谷理事長より、専門医の数が少ないため、難しいこともあるかと思うが、ぜひ他の先生方とも意見を交わし検討して欲しいとの話があった。

3. その他

第2回一般社団法人日本臨床検査専門医会年次大会について

木村次期大会長より、資料を示しながら日程・開催地の説明があった。テーマは現在検討中。開催方法についても予算を踏まえつつ検討中である。横崎理事より全国国立大学法人病院検査部会議と日程が重なるとの発言があった。関係者に連絡を取り、スケジュール調整を検討するとよいのではないかと提言があった。

<審議事項>

第一号議案 将来ビジョン検討委員会メンバーについて

資料に基づき、議長より委員会の概要や推薦要項等の説明があった。現任の〆谷理事長、東田理事の留任でよいかと提案があり、議長が議事を諮ったところ満場異議無く承認された。その後、〆谷理事長と東田理事の承諾を得て、2名を本会からのメンバーとして推薦することが決定した。

以上をもって議事・報告の全てを終了したので議長は閉会を宣した。

植木理事、古川監事が所用により途中退出した以外は、全員通信が途切れることもなく、閉会までつつがなく議事が進行された。

以上、議事・報告事項について本議事録を作成し、出席理事長及び出席監事は次に記名押印する。

2022年 7月 8日

理事長 〆谷 直人 印

2022年 7月 13日

監事 東條 尚子 印

2022 年度第 2 回理事会
教育研修委員会 活動報告 (2022 年度活動予定)

- 1) 日本臨床検査専門医会 第 1 回年次大会 (5 月 20 日～21 日, 鹿児島 Hybrid)にて
生涯教育講演会(5 月 20 日 14:35～16:45)【共通講習:医療安全講習 2 単位(予定)】
座長:米川 修、田部 陽子 (敬称略)
演者:辰巳 陽一 (近畿大学附属病院安全管理部)
「医療安全における医療チームのかたち」
長尾 能雅 (名古屋大学医学部附属病院・患者安全推進部)
「患者安全の全体像」
- 2) 2022 年度 教育セミナー(オンデマンド配信期間 6 月 10 日～20 日)
動画共有サイト Vimeo, オンラインストレージ DropBox を利用
講義資料は、事前に専門医試験委員、試験実行委員に提供
4 月 6 日より HP にて参加者募集開始(定員 50 名;申し込み数 5 月 16 日現在 45 名)
(1) 受講料:8,000 円
(2) 教育セミナー講師(下記 10 名)が作成した動画(30～50 分)をオンデマンド配信
(3) 資料と実技動画を DVD で配布
(4) 受講確認のため講義毎に MCQ2問を準備し、回答者に対し受講証明書発行

2022 年 日本臨床検査専門医会 教育セミナー 講師

科目	氏名	所属先
輸血学	田中 朝志	東京医科大学 八王子医療センター 臨床検査医学科
臨床微生物学	上原 由紀	藤田医科大学 医学部 微生物学講座・感染症科
臨床血液学	増田亜希子	虎の門病院分院 臨床検査部
臨床生理学	諏訪部 章	岩手医科大学 臨床検査医学講座
臨床検査診断特性評価と精度管理	石田 博	山口大学 大学院医学系研究科 医療情報判断学
遺伝子検査学	中谷 中	伊賀市立上野総合市民病院
臨床化学・免疫学	米川 修	聖隷浜松病院 臨床検査科
一般臨床検査学	三宅 一徳	順天堂大学 医療科学部 臨床検査学科
臨床検査室管理総論・精度管理	佐藤 尚武	順天堂大学 医学部 臨床検査医学講座

昨年度合格体験談 (山口聡子、ビデオ約 10 分)

- 3) 2022 年度 第 5 回 医学生・研修医のためのハンズオンセミナー共催
8 月 21 日(日) Web 開催
主催:日本臨床検査医学会、共催:日本臨床検査専門医会
- 4) 第 69 回日本臨床検査医学会学術集会 (11 月 17 日-20 日、宇都宮)
日本臨床検査専門医会 共催シンポジウム
テーマ「地域社会を広げる臨床検査専門医の多様性」
座長: 涌井昌俊、朝比奈彩 (敬称略)
演者: 河端菜穂子 (旭川医科大学、内科学講座))
小木曾嘉文 (長野県立こども病院 臨床検査科)
西村 邦宏 (国立循環病研究センター、予防医学疫学情報部)
久川 聡 (保健科学研究所)

資格審査・規定改定委員会より（2022 年 4 月 24 日以降）

報告事項

1. 前回の理事会以降 6 名の入会希望者について審査を行い、委員会としては承認、理事長に承認依頼した。

1. 森田 洋平 松山赤十字病院 腎臓内科 臨床検査科
2. 佐藤 碧 公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院病理診断科
3. 遠藤 育子 日本医科大学多摩永山病院 内科循環器内科、中央検査室
4. 北川 浩樹 広島大学病院 感染症科/感染制御部
5. 野村 憲一 さいがた医療センター
6. 加藤 寿光 群馬大学医学部附属病院感染制御部

2. 名誉会員、功労会員の承認スケジュール(確認)

9 月ごろ(今年度は 9/17)の第 3 回理事会までに事務局の協力を得て
資格審査・規定改定委員会で次年度(4 月から)の名誉会員、功労会員の候補を決定



第 3 回理事会理事会で審議



秋(今年度は 11/17)の臨時社員総会で承認

※ 名誉会員、功労会員の選定基準等については、これから資格審査・規定改定委員会で検討予定

渉外委員会報告 (2022 年 5 月 20 日)

1. 振興セミナー

第 39 回振興セミナー (7 月 22 日 (金) 開催予定) 案

14:30～ 開会挨拶 〆谷理事長

* 第 1 部 令和 4 年度診療報酬改定を巡って

座長：山田 俊幸 (日本臨床検査専門医会 副理事長)

14:35～15:05 講演 1 「令和 4 年度診療報酬改定について」(案)

演者：荒川 直紀 (厚生労働省保健医療課)

15:05～15:35 講演 2 「診療報酬改定に対する臨床検査専門医会としての考え」

演者：松下 一之 (日本臨床検査専門医会常任理事・保険点数委員会委員長)

* 第 2 部 座長：横崎 典哉 (日本臨床検査専門医会・常任理事・渉外委員会委員長)

15:45～16:45 特別講演「公正競争規約と最近の動向」

演者：津藤 保 (医療機器業公正取引協議)

16:45～16:50 閉会挨拶 山田副理事長

2. 全国検査と健康展について

2022 年度も日本臨床衛生検査技師会と協力していく予定です。

4/23 の報告以降特に追加事項はありません。

保険点数委員会 （5 月 20 日理事会）

1. 第 39 回振興セミナー（7 月 22 日（金）開催予定）案

15:05～15:35 講演 2

「診療報酬改定に対する臨床検査専門医会としての考え」案）

において、理事の皆様からご意見を頂戴したいと考えています。

2. 臨床中核拠点病院、がんゲノム医療中核拠点病院等（例えばエキスパートル）、ISO15189 認定施設などに臨床検査専門医が必要と考えています。それぞれの施設における要件に臨床検査が必要と考えていますが、本件について、保険請求あるいは加算の点から、理事の皆様方のお考えを頂戴できますと幸いです。

【2023 年度 第 2 回年次大会のお知らせ】

大会長： 木村 聡 （昭和大学）

期 日： 2023 年 6 月 23 日（金）、24 日（土）

会 場： 昭和大学上條記念館（東京都品川区）



令和 4 年 5 月 16 日

(一社)日本臨床検査医学会

理事長 大西 宏明 様

(一社)日本臨床検査専門医会

理事長 〆谷 直人 様

(一社)日本臨床衛生検査技師会

会長 宮島 喜文 様

(一社)日本衛生検査所協会

会長 久川 芳三 様

(一社)日本臨床検査薬協会

会長 小野 徳哉 様

(一社)日本臨床検査振興協議会 理事長 村上 正巳

日本臨床検査振興協議会 令和4・5年度 将来ビジョン検討委員会メンバー推薦のお願い

拝啓 平素から当臨床検査振興協議会へのご理解とご参画を賜り御礼申し上げます。

当協議会は令和 4 年 4 月 1 日に一般社団法人化し、5 月 30 日に法人化後第一回の総会ならびに理事会を開催すべく準備を進めております。

当協議会では将来ビジョン検討委員会を設置し、臨床検査及び協議会の持続可能な成長に向けた在り方について検討を行ってまいりました。今般の一般社団法人化はその成果の一つです。

今般法人化にあたり、定款第 45 条及び委員会規程 2 条に基づき、引き続き「将来ビジョン検討委員会」を設置し別紙「将来ビジョン検討委員会メンバー推薦要綱」に示した活動を推進いたします。

つきましては、委員会規程第 3 条の定めにより、将来ビジョン検討委員会のメンバーを各加盟団体より最低 1 名ご推薦頂きたく存じます。

早速ではございますが、別紙の「メンバー推薦要綱」をご参照いただき、添付の記入票にてメンバーのご推薦をお願いしたいと存じます。なお、今後の総会・理事会に向けたスケジュールの関係から令和4年 5 月 23 日までに下記へご提出を頂きたく、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

敬具

記

提出先:

臨床検査振興協議会 事務局 柿島・江田

メールアドレス: jpcit@jpcit.org

電話番号: 03-3296-7560

【将来ビジョン検討委員会メンバー推薦要綱】

リーダー：宮島 喜文

1) 活動概要

臨床検査及び当法人の持続可能な成長に向けた在り方につきビジョンを取りまとめ、当法人の活動への反映を図る。結果として当法人の活動を通し社会貢献を実現する。

2) 活動期間

令和4年6月～令和6年3月を予定

3) 検討事項案（但し、今後変更する場合があります）

- 今後の取組課題の整理・優先順位付け
- 上位課題につき取り組み開始

4) 上記の活動概要を踏まえ、各加盟団体より最低1名のメンバーをご推薦願います。

【参考】令和2・3度将来ビジョン検討委員会メンバー（敬称略）

	所属団体	氏名
委員長	日本臨床衛生検査技師会	宮島 喜文
委員	日本臨床検査医学会	村上 正巳
委員	日本臨床検査専門医会	✂谷 直人 東田 修二
委員	日本臨床衛生検査技師会	横地 常広
委員	日本衛生検査所協会	東 修一 久川 聡
委員	日本臨床検査薬協会	望月 克彦
事務局	臨床検査振興協議会	柿島 博志

【推薦メンバー記入票】

団体名：_____

	氏名	勤務先名	メールアドレス
将来ビジョン検討委員会 委員			